

兵庫県における 水稻害虫の総合防除技術

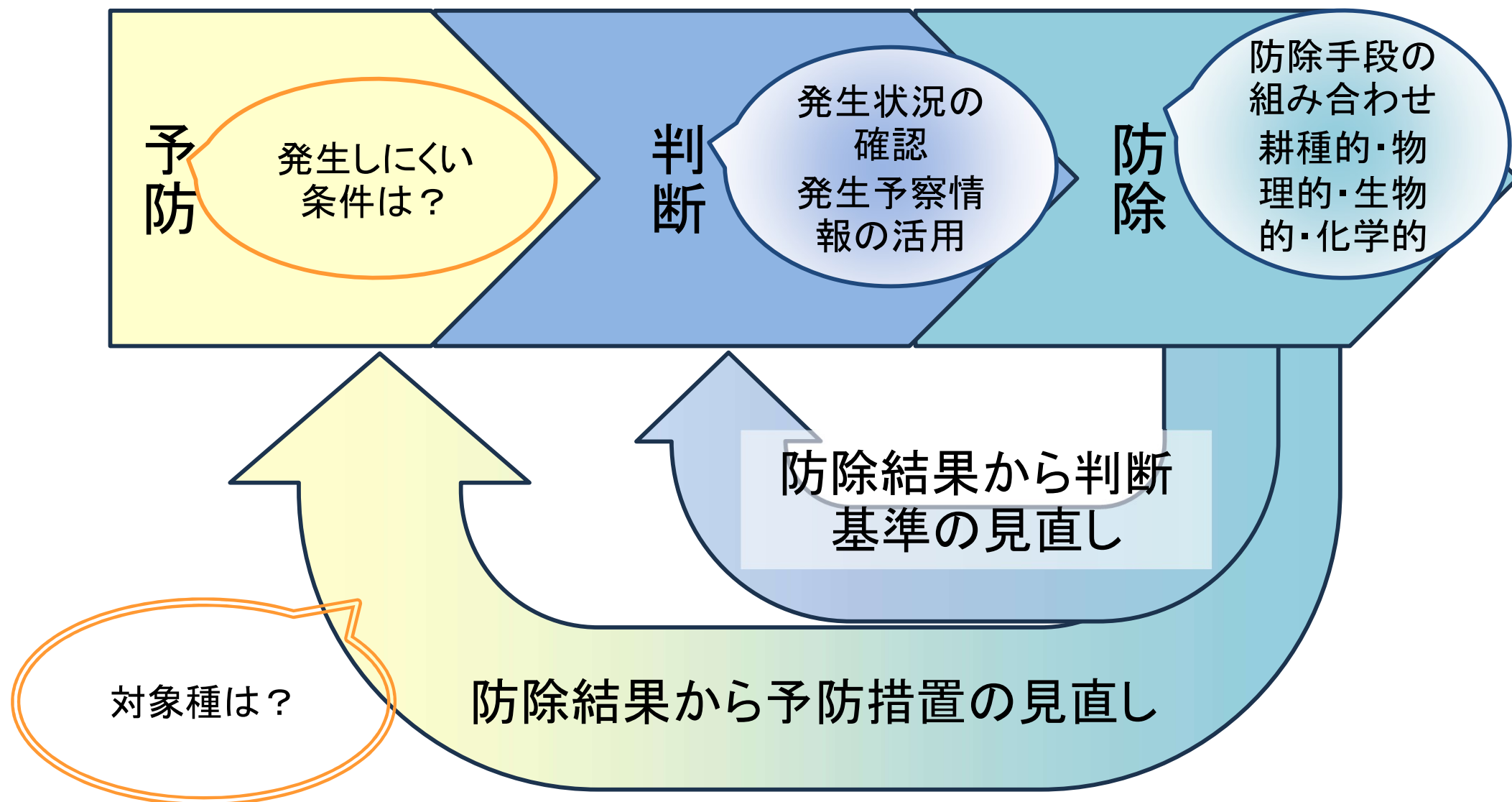
兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター病虫害部
(病虫害防除所)

URL: <https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

本日のお話

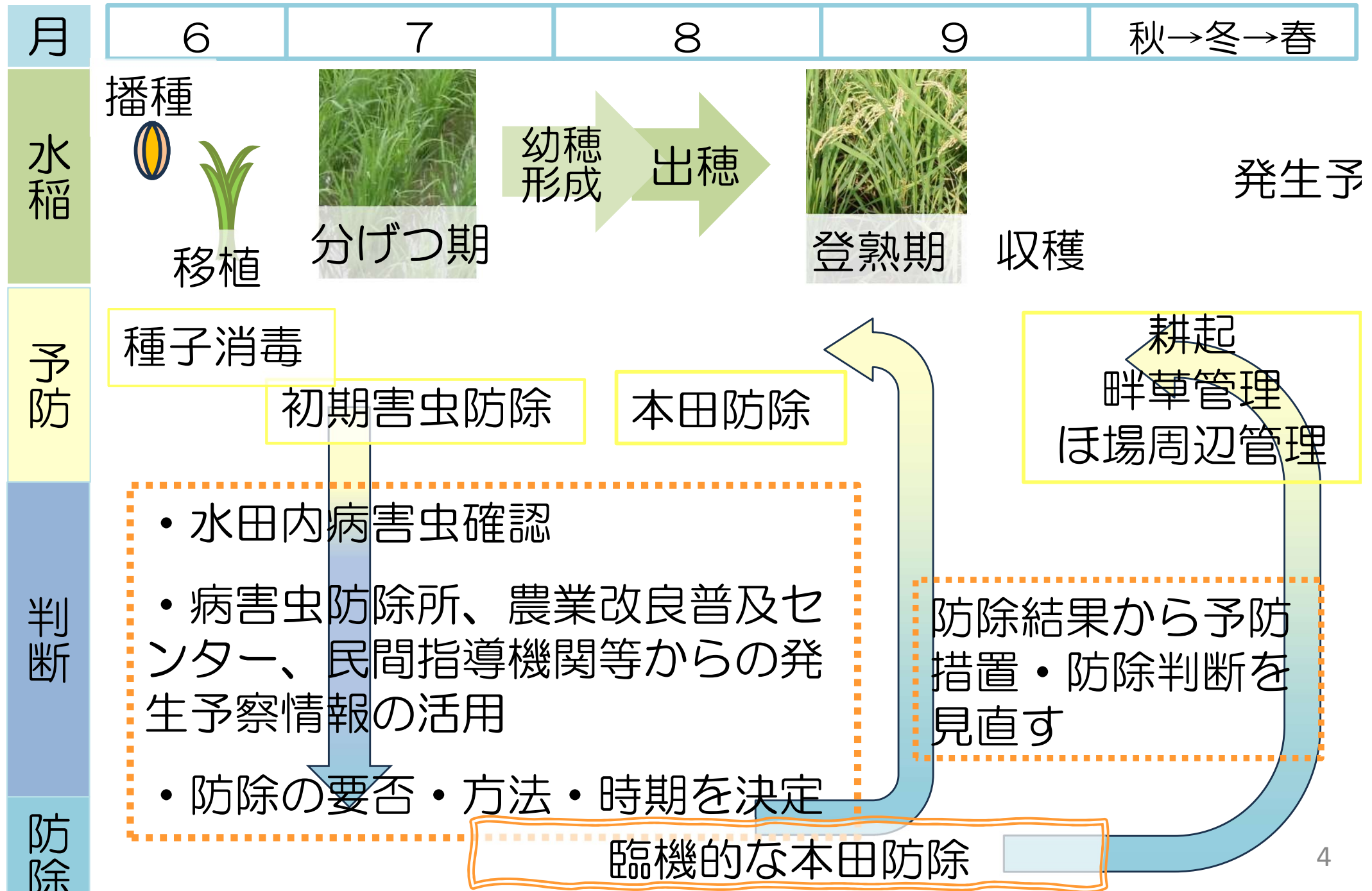
- 1 総合防除 実践のイメージ
(予防・判断・防除)
- 2 水稻害虫に対する
総合防除実践のイメージ
- 3 病害虫発生予察情報の活用
- 4 兵庫県で発生に注目している害虫種
- 5 総合防除実践（虫種ごと）
 - ケース1 ヒメトビウンカーイネ縞葉枯病
 - ケース2 トビイロウンカー坪枯れ被害
 - ケース3 斑点米カメムシ類—斑点米被害
 - ケース4 スクミリンゴガイ—初期欠株被害
- 6 まとめ

1 総合防除 実践のイメージ



病害虫が発生しにくい生産環境を整え（予防）、
病害虫の応じて適時に適した手段で（判断）、防
除を行う。
※予防と判断を重視

2 水稻害虫に対する総合防除実践のイメージ



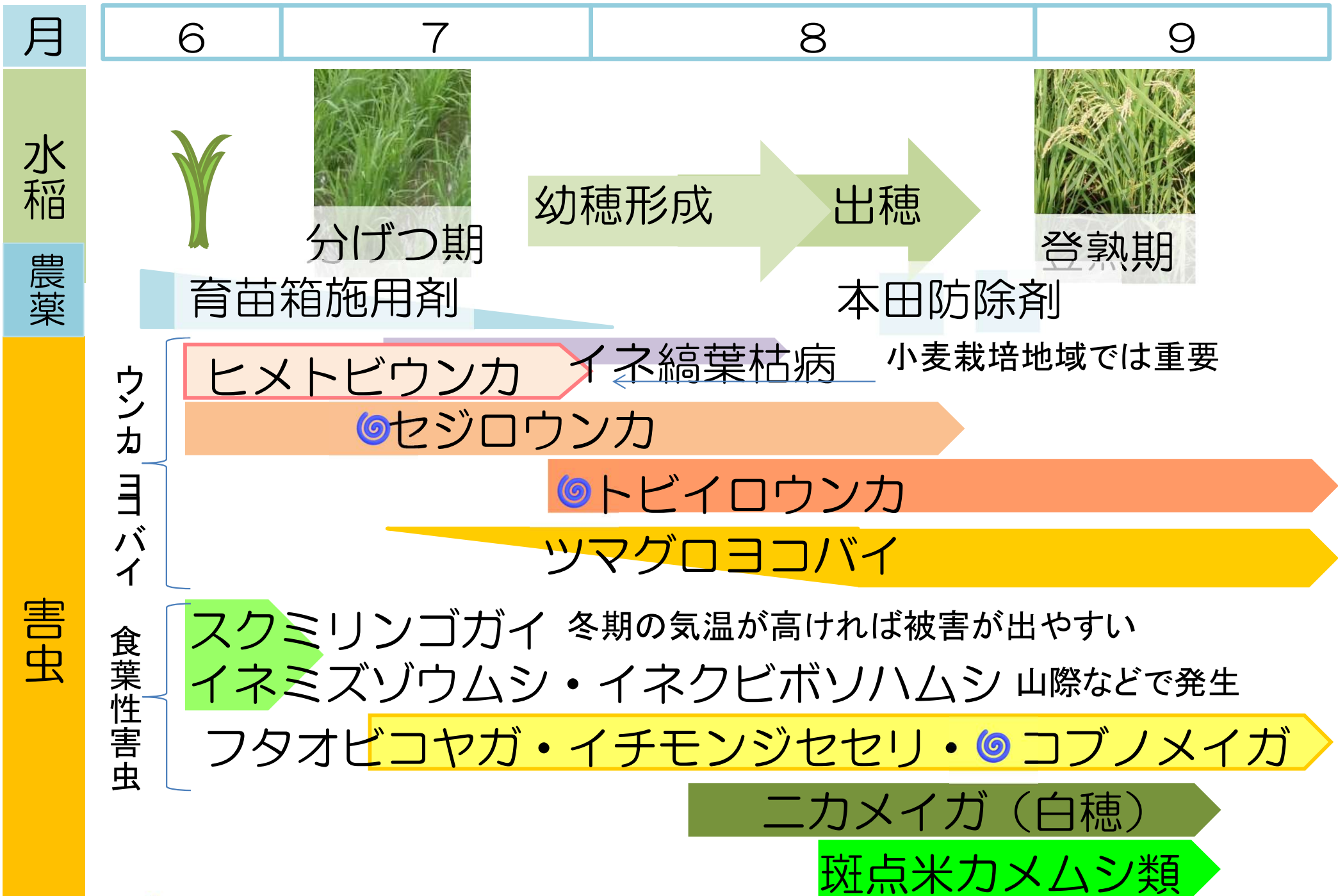
3 病害虫発生予察情報の活用

病害虫防除所では、病害虫の発生をモニタリング調査して、発生予測を行いその情報を提供しています。

情報の種類

- ①予報：定期的に発表
（水稻対象4月～9月）
- ②注意報：
病害虫が多発することが予測される
→早めの防除措置が必要
- ③警報：
病害虫が大発生することが予測される
→早急に防除措置を講じる必要

4 兵庫県で発生に注目している害虫：12種類



※ 海外飛来性害虫：梅雨前線や台風などの気象条件により飛来する

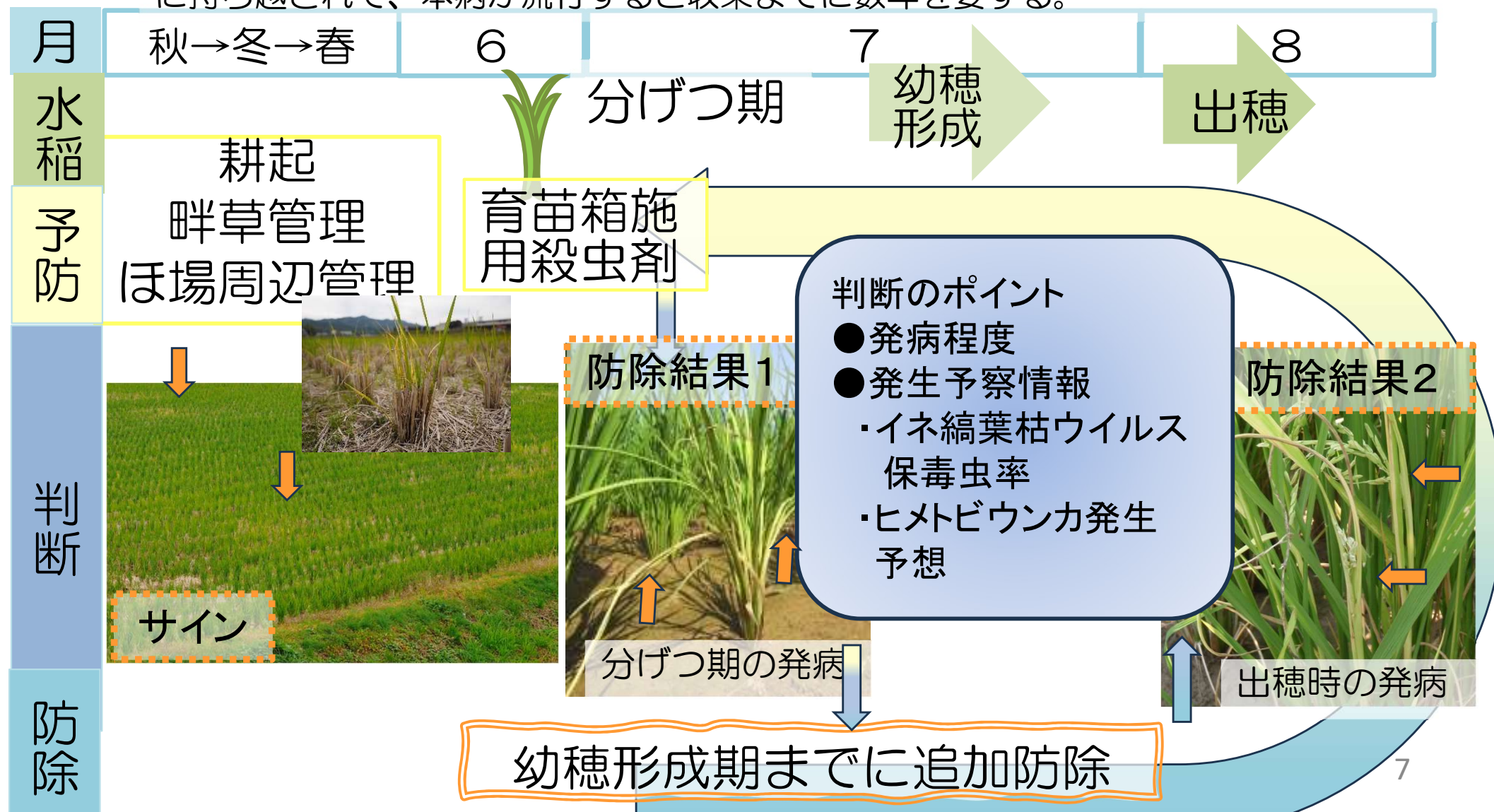
ケース

1

ヒメトビウンカーイネ縞葉枯病

ヒメトビウンカーに媒介されるイネ縞葉枯ウイルスによりイネ縞葉枯れ病が発病すると初期成育の不良、出穂異常等などを起こし減収する。

ウイルスを保持しているヒメトビウンカー（保毒虫）の次世代も高率で保毒虫となり翌年に持ち越されて、本病が流行すると収束までに数年を要する。



ケース
1

病虫害発生予察情報の活用

イネ縞葉枯病防除判断ポイント

病虫害防除所では小麦におけるヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス（RSV）保毒虫率調査を行い情報提供している。

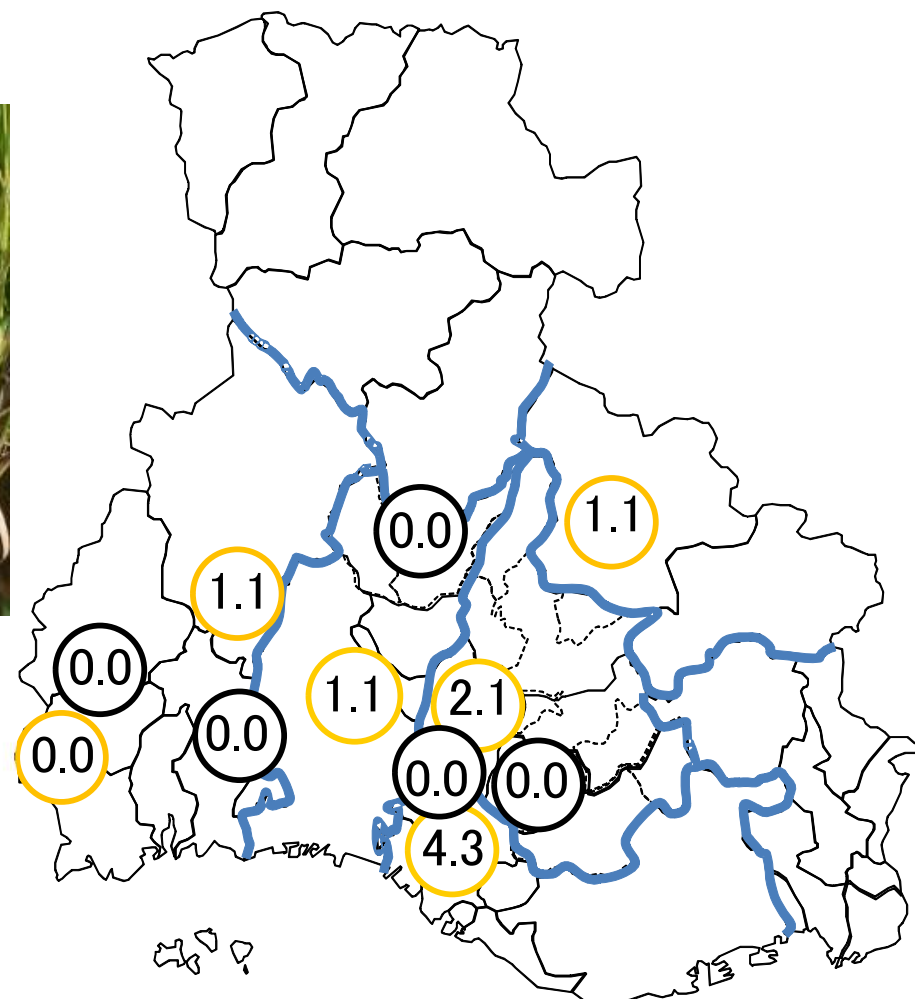
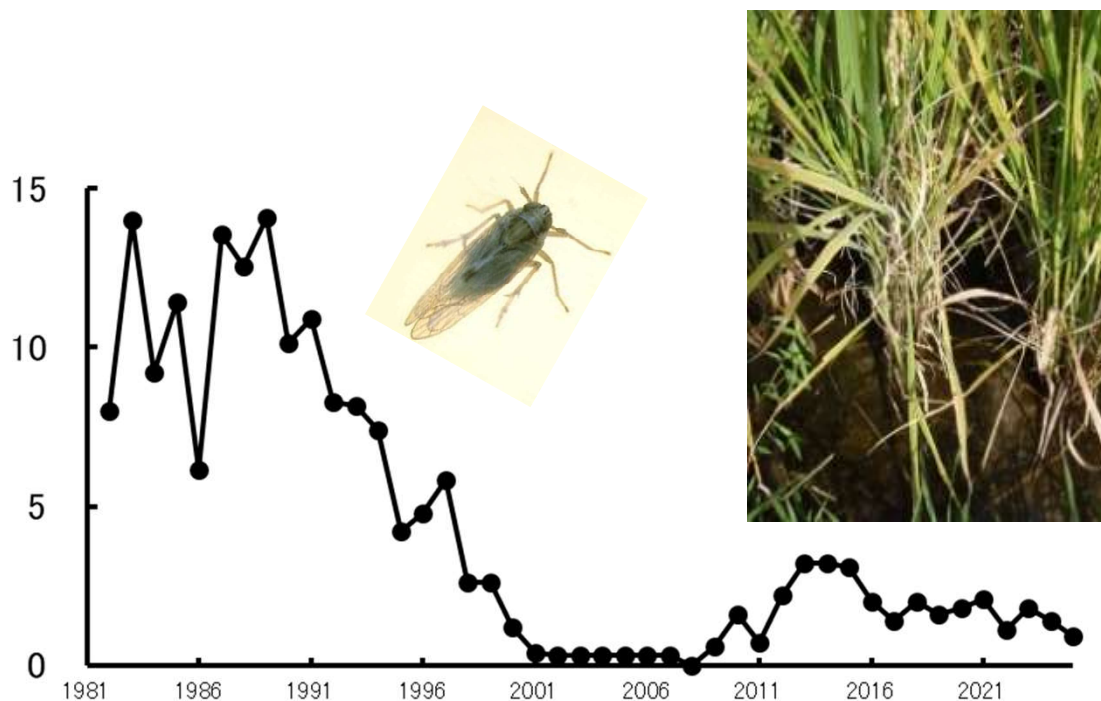


図 兵庫県のヒメトビウンカRSV保毒虫率
年次推移（小麦採集の第1世代虫）

図 地域別保毒虫率（2025）
※5月の小麦での採集虫を供試

トビイロウンカ＝坪枯れ被害

トビイロウンカは南方系の害虫で、日本では越冬することはできない。梅雨前線の南側に発生する下層ジェット気流に乗って中国大陆から飛来する。気象条件や、発生地での発生量により年によって飛来量は異なる。飛来後、3世代を経ると坪枯れ被害を起こすため、飛来のタイミングが早いほど、飛来機会や飛来量が多いほど、被害は大きくなる。

月

6

7

8

9

水稲

予防

育苗箱施用
殺虫剤

判断のポイント

- 発生程度・発生時期
- 発生予察情報
 - ・飛来情報、水田内発生情報
- ウンカ類飛来予測システム(気象条件から飛来を予測)
<https://www.jppn.ne.jp/jpp/hiraiyosoku/index.html>

登熟期

判断



成虫

卵

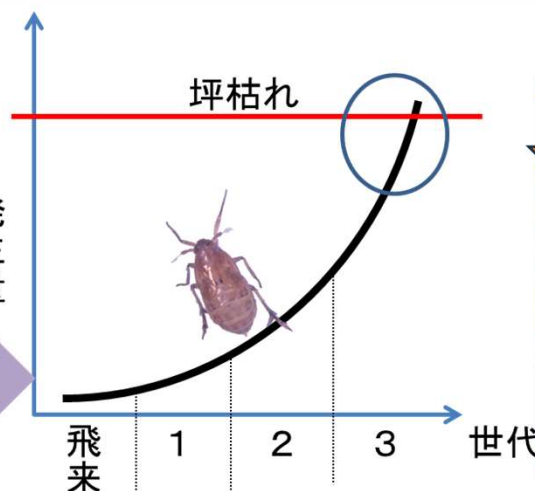
幼虫

成虫

卵期が長い！夏でも5日もある
(卵期の防除は効果が期待できない)。

＝約1カ月

発生量



飛来

1

2

3

世代



防除結果

防除

臨機的な本田防除

9

ケース
2

病害虫発生予察情報の活用

トビイロウンカ・坪枯れ被害



予察灯(60W白熱球)

設置場所

農業技術センター(加西)

北部農業技術センター

淡路農業技術センター

モニタリング調査：予察灯

ムシが光に集まる性質を利用したトラップ。
機械の中には、カラムが7個あり、1日ごとに1つずつ
回転する仕組みになっていて、1日ごとの虫を収集す
ることができる。
収集した虫を分類、計数して、それぞれの虫種ごとに、
量の多少を解析している。

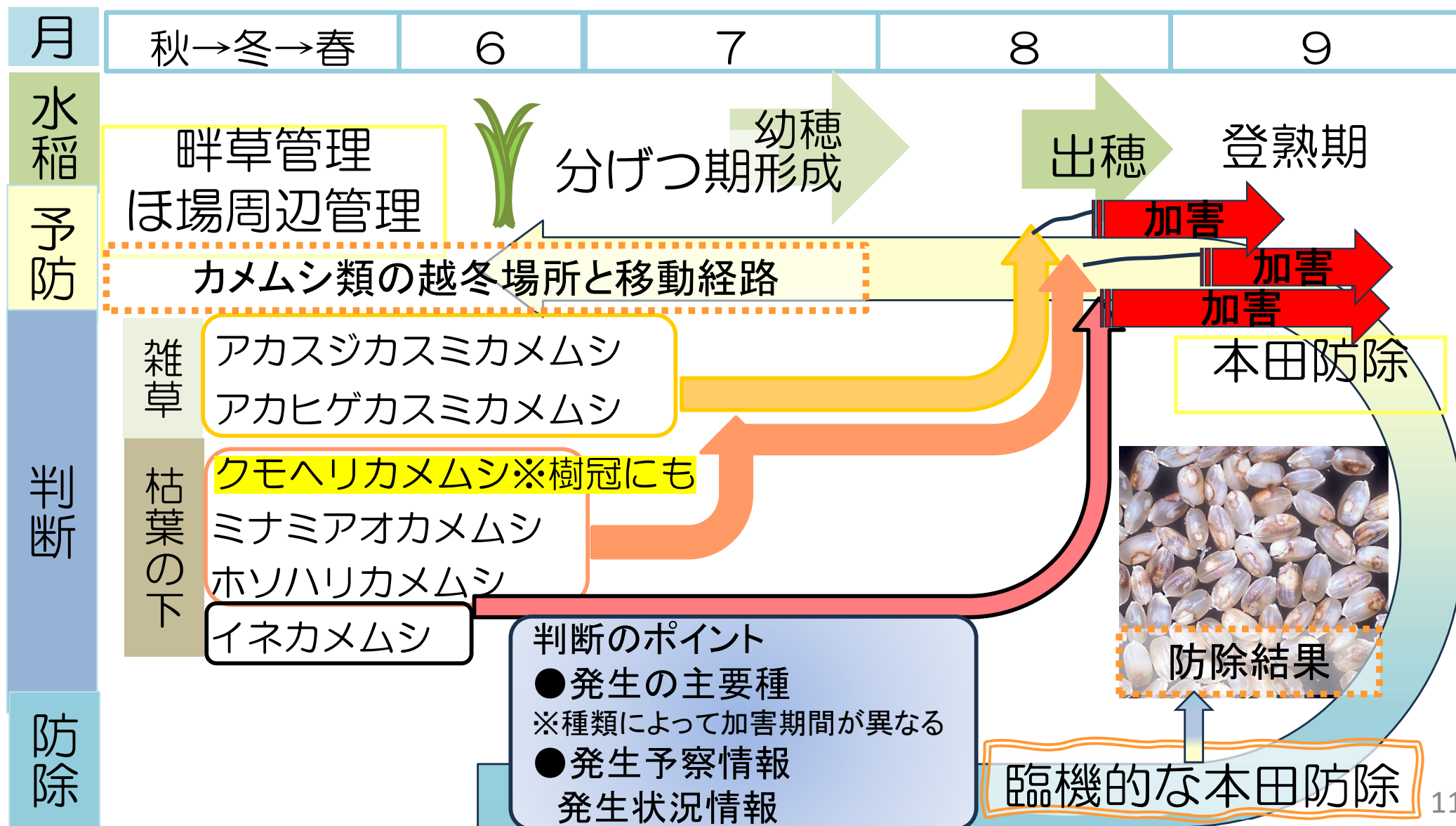
トビイロウンカの飛来世代を確認
→情報提供

水田内の発生状況確認
→防除に関する情報提供

ケース
3

斑点米カメムシ類—斑点米被害

斑点米カメムシ類には複数の種が含まれており、種類によって越冬場所や水田侵入までの移動様式、加害時期が異なる。

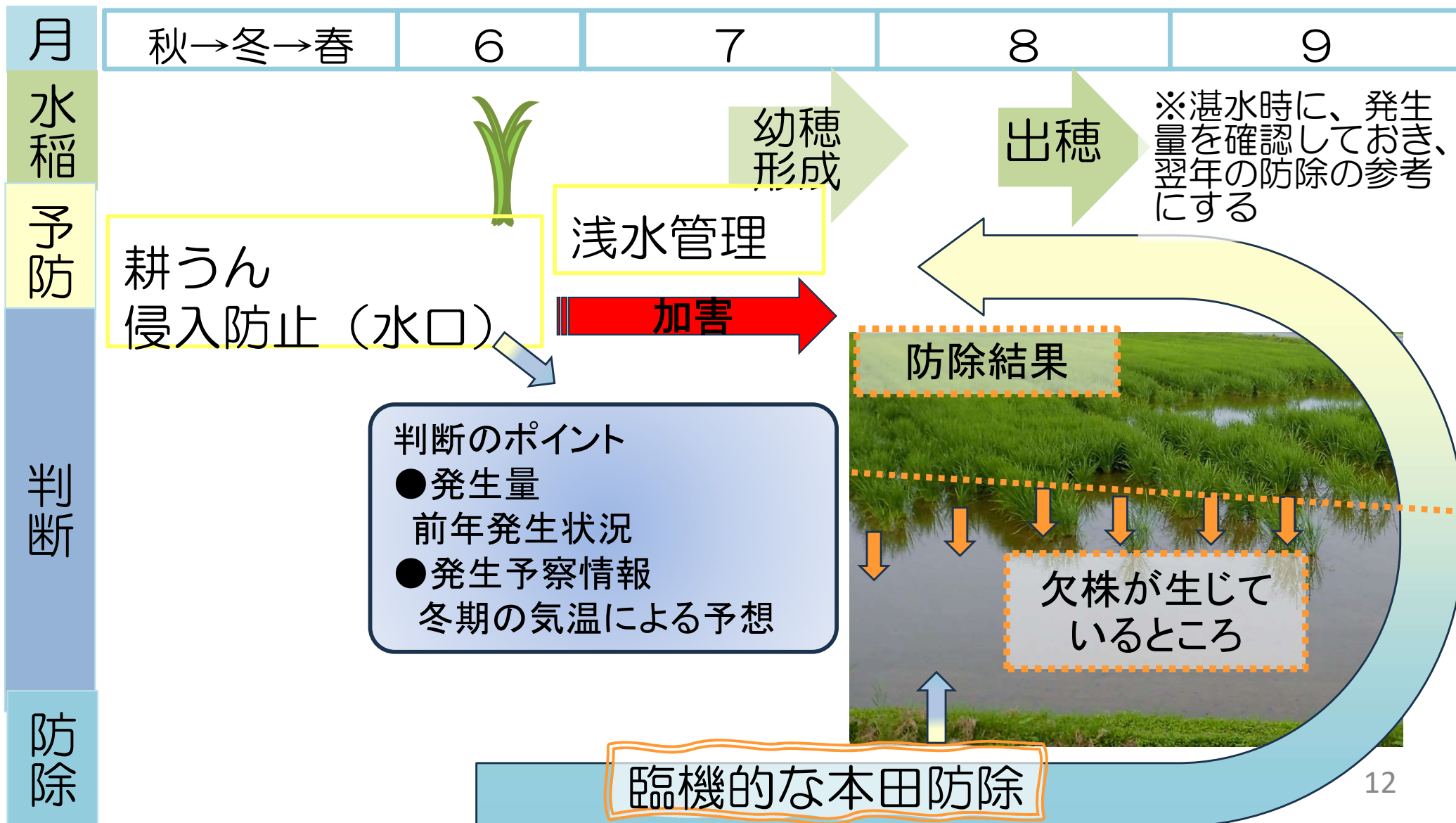


ケース

4

スクミリンゴガイ—初期欠株被害

スクミリンゴガイは一度発生すると根絶することは難しい。移植直後から食害するため、対策も移植直後から効果のあるものが望まれる。水の中でしか摂食できないことから浅水管理は効果的である。



6 まとめ

- ・ 水稻害虫種、それぞれに適した対策は異なる。
- ・ 多くの虫種は存在するが、主要な害虫は、作型・品種・周辺環境などによって異なる。
- ・ ほ場内の観察を行い、前年の発生状況なども考慮しながら、指導機関が発信する情報などを参考に、防除手段を組み合わせ、予防的対策を行うとともに、必要に応じて、防除対策を行う。